

氏名	松岡 順治		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	甲第627号		
学位授与の日付	昭和61年9月30日		
学位授与の要件	医学研究科外科系外科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)		
学位論文題目	New Strategy for Immunomodulation by Ex Vivo Removal of an Interleukin-2 Inhibitor (インターロイキン2阻害因子の体外的除去による免疫調節への 新しい戦略)		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 木村郁郎	教授 太田善介

学位論文内容の要旨

二酸化珪素を主成分とし表面に微細な多孔を有するガラスビーズ吸着体を用いることにより、インターロイキン2阻害因子を有効に除去することが可能であった。

2種のインターロイキン阻害因子、すなわちヒト大腸癌腹水由来Immunosuppressive Substance及びマウスエールリッヒ腹水癌由来細胞株JTC-11上清中のIL-2阻害因子は、いずれも試験管内のみならず、吸着体を充填したカラムを用いた体外循環モデルにおいても極めて有効に除去された。多孔性ガラスビーズ吸着体によるインターロイキン2阻害因子除去率は、吸着体の孔径及び表面処理によって規定されたが、これは阻害因子の分子量及びPIと関連するものと考えられた。

IL-2阻害因子の体外循環による除去は、内因性及び外因性のIL-2の生物活性を高める新たな免疫調節法として有効と考えられる。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査の結果の要旨

本研究は、多孔性ガラスビーズを用いて実験的に2種のインターロイキン2阻害因子を除去することを検討したものであるが、その結果免疫調節を行なううえで重要な知見を得たものであって価値ある業績であると考えられる。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると考えられる。